

2022 青森市立篠田小学校 学校経営プラン

【めざす学校像】

- ☐子ども一人一人が大切にされ、学ぶ喜びがあふれる学校
- ☐生涯にわたり学び続けるために必要な意欲や学び方、基礎的な知識・技能などが身に付けられる、**授業が充実した学校**
- ☐地域の中での学校の役割を果たし、家庭・地域とともに歩む学校

【経営方針】

- ☐「子どもたちのよりよい成長」を基盤とし、一人一人の多様性を尊重し、**自己肯定感を高め**、新しい時代を切り拓く基礎となる力を育成する。
- ☐知・情・意・体のバランスのとれた子どもの育成のため、全職員で課題意識を共有し、教育目標の具現化に努める。
- ☐保護者や地域住民との連携を深め、活気にあふれる校風づくりに努める。

【教職員の姿勢】

- ☐新教育目標の理念を共通理解し、それに迫るために、**慣習にとらわれず、対話を重視し**、一致協力して組織的・計画的に教育活動を展開する。

【めざす教師像】

- ☐子どもに寄り添い、一人一人の子どものよさを認め、**自己肯定感を高める教師**
- ☐自ら学び続ける姿勢をもち、子どもに「分かる喜び」「できる喜び」を味わわせる授業を実践する教師
- ☐お互いのよさを認め、学校運営への参画意識をもち、チーム篠田として組織の中で自己の力を発揮する教師
- ☐保護者や地域との信頼関係を大切にし、子どもの成長を第一に考えて協力できる教師

【教育目標】 明日に向かい 今考え 行動する 篠田の子

※令和4年度制定

【努力目標】

自分の良さを見つけ ねばり強く活動する子

育成する資質・能力	自分の良さを見つけ ねばり強く活動する子		
	考えを伝え合い 学びを深める子	お互いの良さを認め合い 助け合う子	望ましい生活習慣を身に付け 心も体もたくましい子
	☐ 基礎・基本を身に付ける ☐ 学び方がわかる	☐ 正しい言葉遣いができる ☐ 自他の良さに気付く ☐ 自分に課せられた役割がわかる	☐ 健康・安全に生活するための知識をもつ ☐ 基本的な運動技能を身に付ける
	知識 技能	☐ 対話を通して考える ☐ 相手や場に応じ、分かりやすく伝え合う	☐ 相手の気持ちを考えた行動ができる ☐ あきらめずに最後までやり通す
	思考力 判断力 表現力	☐ 状況や場に応じて判断し、行動できる ☐ 約束やルールを守る	☐ めあてを決めて、達成にむけ運動を継続する ☐ 自分の良さを伸ばそうとする
	学びに向かう 人間性	☐ 互いの良さを認め合い、協力・協働ができる ☐ 苦手なことにも挑戦する	

【学校課題】

「学びを深める授業の充実」 ☐ 基礎学力・思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり ☐ よりよい学びの環境づくり	「自己肯定感を高める心の教育」 ☐ 自他の良さに気付き、信頼関係を構築する授業・活動づくり ☐ 個に応じた「居場所・出番」の確保	「たくましい心と体を育てる健康教育」 ☐ できる喜びを味わわせ、健康を維持・向上できる授業・活動づくり ☐ 望ましい生活習慣の確立
--	---	--

【具体的方策】

生徒指導の三機能を生かした授業			
授業	・基礎基本の定着 ・授業規律の確立 ・校内研の日常化(自己肯定感の向上) ・「あおもりしメソッド」に基づいた授業 ・ 教科担任制拡充(中・高学年) ・横断的カリキュラムの整備	・横断的カリキュラムに基づいた授業の充実(道徳・学級活動・総合) ・協力学級児童と支援学級児童の交流	・教科体育の充実 ・安全を最優先にした学習(体育・理科・家庭科・図工等) ・食に関する指導の継続
	ICTの活用・感染症対策		
日課	・一日の学習の振り返り (成就感・達成感)	・縦割り班清掃の実践 ・ 自他の良さの振り返り(帰りの会)	・体力向上をめざした持続できる活動 ・歯磨きタイムの実践 ・食育チャレンジの継続
週	・ICT活用(AIドリル等) ・読書タイムの充実	・いじめ防止等対策委員会の有効活用 ・ねらいを意識した集会活動 ・自主的な委員会、クラブ活動	・感染予防対策の振り返り (成就感・達成感)
月 学期	・単元末、学期末、各種テストとフィードバック指導 ・ 次への目標確認	・事前・事後指導を充実させた学校行事 ・一人一人に寄り添った教育相談 ・校長講話活用	・マラソンカードの振り返り ・学校保健委員会の実施 ・マナーにならない安全点検
「自己肯定感測定項目」についての自己評価・結果をもとにした改善			
家庭 地域	・家庭学習習慣の形成 ・学校支援ボランティア活用 ・ICT活用(AIドリル等) ・小中連携	・学校だより、ホームページでの発信 ・関係機関との連携 ・地域行事への参加奨励 ・中学生との交流活動	・保健だより ・学校保健委員会への参加 ・地域スポーツクラブへの協力 ・地域音楽部の模索

※主な指標 各種テスト前回比・家庭学習取組状況

自己肯定感測定項目指標・指導の記録前年比

各種運動能力テスト結果・保健室来室者前年比

【めざす子ども像】

4つの「あ」ができる子

☐明るい「あいさつ」ができる子 ☐素直に「ありがとう」が言える子 ☐自分や相手の「あんぜん」に気を付けて行動できる子 ☐進んで「あとしまつ」や整頓ができる子

<社会の変化>

変化が激しく予測困難な未来
☐グローバル化 ☐情報化
☐少子高齢化 ☐人口減少

<求められる能力>

- ☐答えのない課題に最善解を導く能力
(思考力・判断力・表現力)
- ☐分野横断的な幅広い知識・俯瞰力
(主体性・多様性・協調性)

<保護者・地域の願い>

- ☐思いやりの心をもった子
- ☐相手とのコミュニケーションを大切にする子
- ☐基礎基本を身に付けている子
- ☐集中して学習する子
- ☐めあてに向かって粘り強く努力する子

<市学校教育指導の重点>

- ☐ICT教育 ☐いじめ対策
- ☐コミュニティー・スクール
- ☐小中一貫教育 ☐外国語教育
- ☐不登校対策 ☐健康・安全指導
- ☐感染症対策
- <A.I. スクール計画>**
- ☐教科横断的・探求型の学習
- ☐複数担任制の導入
- ☐教科担任制の拡充

<児童・家庭・地域・教職員の実態>

※○：強み △：弱み

～児童～

- 学年を超えた仲間意識
- 基礎的な学力
- 与えられた仕事への責任感
- 安全意識の高さ
- △自己肯定感の低さ
- △運動への意欲

～家庭・地域～

- 児童数の増加
- まとまりのある教室配置
- △空き教室がない(活動場所の制限)
- △地域と連携した活動(学校ボランティア人材)
- △小中連携

～教職員～

- バランスのとれた年齢構成と勤務年数
- 学校運営に対する参画意識